



認知症看護認定看護師活動についてお伝えします

令和6年1月多職種による認知症・せん妄対策チームが発足、12月から認知症ケア加算2から1へ変更となり、認知症ケアに関する院内体制が大きく変わりました。今回は認知症・せん妄対策チーム活動に従事する認知症看護認定看護師活動についてご紹介します。

認知症・せん妄対策チーム

組織横断的に多職種で専門性を発揮し、以下の目的に沿って実践するチーム

- ①認知症ケアの充実
- ②せん妄予防・対策
- ③身体拘束最小化かつ安全に行う（当チームは身体拘束最小化チームと兼務）

認知症・せん妄対策チームメンバーと役割

- ・ Dr：主治医と連携し、せん妄診断・評価、薬剤調整など
- ・ 認知症看護認定看護師：せん妄・認知症アセスメント、患者背景・疾患などの情報から身体・精神面のアセスメント、環境調整など
- ・ MSW：社会資源の活用、退院支援・サービス調整など
- ・ RM：インシデント対策、身体拘束対策など
- ・ 薬剤師：処方薬確認（せん妄を起こしやすい薬剤の有無）、副作用チェック、薬物相互作用のチェックなど
- ・ 作業療法士：機能障害のアセスメント、個別及び集団リハなど
- ・ 管理栄養士：食事・栄養管理に関する助言など
- ・ 病棟看護師（リンクナース）：入院時にせん妄スクリーニングを行い、ハイリスク患者へ看護計画を立案・実施、各病棟での実践および啓蒙活動など

認知症・せん妄対策チームの活動内容

- ・ チームカンファレンス：週1回程度開催（毎週月または火曜日13時～）
- ・ 病棟ラウンド（巡回）：週1回以上開催
- ・ 認知症ケアマニュアル・手順書の作成・修正
- ・ せん妄リスク因子の確認・せん妄対策
- ・ 認知症ケアに関する研修会企画・実施

認知症ケア加算1 チームカンファレンスの様子

ムラは有るが平均7割～8割摂取できます

ユーロジンはベンゾジアゼピン系なので減らしたいです

現在ユーロジンとデエビゴ併用しています

独居なので今後介護申請予定です

ユーロジン0.5錠に減量しデエビゴ併用継続で

認知症ケア加算1以外のチームの取り組み

- ・ RMと共に医療安全の視点から、安全な離床センサー・衝撃吸収マットの使用について検討（ウーゴに変わる新しい離床センサーのデモ・導入など）
 - ・ 身体拘束最小化チームと兼務し、必要最小限・安全な身体拘束への啓蒙活動
 - ・ せん妄予防のための安全な薬剤使用についての検討
- など、様々なことに取り組んでいます。認知症やせん妄などで困ったときは、お気軽にご相談下さいね

認知症看護認定看護師からメッセージ

外来透析 植木 文美子：認知症ケア加算1 専任看護師



認知症ケア加算1へ移行し、病棟患者さんのケアについて病棟看護師の方やチームメンバーとの連携する機会が増えました。認知症はせん妄リスクを高めてしまいますが、予防・早期介入に加えて環境や内服調整などで対応可能となります。今後も多職種の専門性を活かしながらチーム活動に従事していきたいと思っております。皆様方のご協力よろしくお願いします。

3階病棟 北沢 和幸：身体拘束最小化対策 専任看護師



認知症・せん妄対策チームに今年度から身体拘束最小化に向けてのチームを兼務しています。身体拘束が適切な手順で患者に安全な方法で実施されているのかを客観的に観察し、実際の現状を踏まえてチームで必要性について検討しています。また院内の身体拘束の現状を職員全員に周知し、最小化に取り組めるよう皆様のご協力よろしくお願いします。